

令和3年度第1回

博物館協議会 協議録

開催日時	令和3年4月13日(火) 14:00~15:30
開催場所	市立函館博物館集会室
議 題	1 令和2年度博物館事業報告について 2 令和3年度博物館事業計画について 3 その他
出席者	博物館協議会 出席委員 8名 (欠席委員 3名) 事務局(函館市教育委員会) 6名
出席者	一般傍聴者 1名 報道関係者 2名

発言要旨

司 会
(事務局)

(開会挨拶)

司 会
(事務局)

(教育委員会内 人事異動報告)

生涯学習部長

(挨拶)

司 会
(事務局)

(協議会委員の交代報告)

それでは議事に入らせていただきますが、議事運営につきましては、委員長に議長をお願いして、進めて参りたいと思います。
委員長、よろしくお願いします。

議 長

それでは、第1回協議会資料に沿って事務局から説明をよろしくお願いします。

事務局

(令和2年度博物館事業報告について、資料に基づき説明)
引き続き
(令和3年度博物館事業計画について、資料に基づき説明)

議 長

はい、ありがとうございます。
昨年はコロナの影響で、この協議会が一度も開催されなかったもので、まずは全員に、手短かに意見、質問をお聞きしたいと思います。

A 委員

デジタルアーカイブですが、これについては、これからも継続していきたい。
函館博物館には市民が注目していない貴重な資料がたくさんあるので、積極的に博物館資料を市民に周知し、協力していきたい。

B 委員

会議資料を見ると、コロナ禍なのに講座に参加している子どもたちの楽しそうな写真を見て、良かったなと思いました。
先ほどA委員がおっしゃっていたデジタルアーカイブですが、ホームページから収蔵資料の写真は見れますが、どのくらいの大きさか判らないので、写真パネルだけではなく、その辺りも展示に工夫できないものでしょうか。

事務局

昨年は戸井貝塚の階層の遺跡そのものを実際に展示し、皆様にご覧いただきました。
今年の企画展では、大型竪穴建物の一部を剥ぎ取り、来館者に実際の大きさを実感してもらえるような展示を考えております。

- C 委員 会議資料を見たとおり、子どもたちが普段できないようなことを企画し、体験させていただきありがとうございます。
一昨年企画で、池の水を抜いて生き物観察する講座がすごく人気で、参加できなかった児童がたくさんいたと聞いていました。
できましたらまた、企画の方、よろしくお願いします。
- D 委員 私もいろいろな団体で活動しているが、コロナ禍でなかなか活動できない中、スタンプラリーを実施したとのことだが、参加者はどのくらいありましたか。
- 事務局 昨年のスタンプラリーでは、3館、5館、9館の各賞を設けました。
参加者ですが、3館達成者が440人、5館達成者が293人、9館達成者が205人。
当館単館でも効果があったが、道南の各館でも例年比、数倍の入館者増となっております。
- D 委員 いろんなところを回れるし、非常に面白い企画だと思う。
継続によるマンネリにならぬよう、上手に続けていただきたい。
- 議長 今年もまた開催するのでしょうか。
- 事務局 今年度も、北海道教育委員会から、世界遺産登録になれば、札幌圏を中心に、道南まで人を動かしましょうということで、大規模なスタンプラリーが計画されております。

さらに、函館博物館と渡島総合振興局とで、道南の資料館を巡るスタンプラリーを独自に考えております。
道南の参加他館からは、昨年の経験から、新たな企画を考えていると連絡があり、昨年よりも、より楽しめるものとなる予定です。
- D 委員 青森の博物館で、子どもたちがクイズに参加し、展示資料を見ながら答えを探す姿を目にし、学習意欲を触発するような企画だと感じた。
- E 委員 令和2年度と令和3年度に予算比較についてですが、資料整備費が255万円ほど減額となっているが、理由についてお聞きしたい。
- 事務局 令和2年度は増額要素がありました。
合併後の旧戸井地区に保管している資料の大規模な移動分の費用でございます。
もう一つの理由ですが、博物館の資料はカビから守らなければならないので、大規模なガス燻蒸を行い防虫・防カビ処理を行うが、ここに多額の費用がかかっていた。
この費用を抑えるために、収蔵庫の換気を良くするとか、環境整備を行ったので、消毒を毎年行わなくても良くなりました。
この2点が、減額の大きな要素となっております。

- F 委員 コロナ禍でも、感染対策をしっかりと、子どもの参加行事を企画したことが、大変素晴らしい。
 昨年、修学旅行など、通常青森に行くところを、大沼や函館に変更した話を聞いたが、近場でも、子どもはすごくエネルギーがあり、楽しい思い出にしている。
 地元のこういう講座がなければ、子どもの時に博物館に行く機会がないかもしれないので、これからも博物館でしかできない体験を、企画してください。
 あと、昨年の企画展を観覧したが、私の知人で陶芸やアクセサリーを作っている人が、展示資料はすごく作成の参考になると話していた。
 若い人に、足を運んでもらえる企画展にしてください。
- G 委員 4、5年前に三内丸山遺跡を見学したが、市民ボランティアが写真などを販売し、売上金を館に寄付していた。
 コロナ禍だが、函館博物館でも、そのようなボランティアを使った活動ができないか。
- 議 長 コロナ禍なので、どこまでできるか判からないので、今後の宿題にしましょう。
 他に皆さんから意見ありませんか。
- 事務局 追加で説明させていただきます。
 今年度の講座表の中に「池の中を見てみよう」というのがありますが、こちらが池の水を抜いて生物観察をする講座となります。
 博物館の単独事業ではなく、住宅都市施設公社が2年に一度、池の水を抜いてごみ撤去を含め清掃する際に、併せて開催します。
- 議 長 では、議題1と議題2については、意見、質問はよろしいですか。
 次に議題3 その他について、事務局から何かございますか。
- 事務局 議題3 その他についてですが、
 「市立函館博物館郷土資料館の管理運営について」説明します。
 (資料に基づき説明)
 ・ 入館料の無料化について
 ・ 閑散期となる冬期間の休館について
 ・ 指定管理期間終了に伴う、直営管理への移行について
 ご意見等ございましたら、お聞かせください。
- 議 長 事務局から郷土資料館の管理の見直しについて、説明がありましたが、A委員、いかがですか。
- A 委員 建物の価値が分からないし、維持管理については、すぐには思い浮かばない。
 利用料無料に関しては、理解します。
- 議 長 D委員、ご意見いただけますか。

D 委員

以前に建物の大規模改修を行っており、耐震改修もしているので、その部分は大丈夫だと思う。

繁忙期だけ開館し、閑散期は閉館とのことだが、できれば通年開けたほうがいい。冬期間でも、一定の入館需要があると思うので、せめて土日は開けたほうがいい。市民の中には、歴史好きの方もいるので、人の手立てが必要であれば、西部地区の町会や観光ボランティア等、民間のマンパワーも探ってみてはどうか。入館料と管理委託料の金額的な開きには、びっくりしたが、ただこれが、収益事業かと言われれば、何とも言えない。

入館料を設定しないことで、立ち寄る市民や観光客が増え、明治期の函館の歴史と文化に触れる機会が向上するなど、良い面がある一方、自由に入館できる環境は、建物の維持管理上、悪い影響もあるので、両面からの検討が必要ではないか。

また、西部地区の立地の良い場所に建てられており、函館市が進めている西部地区活性化対策に活用できるのではないか。

函館の観光スポットの中心に立地していることから、6か月間だけの開館ではなく、民間への貸し出しや西部地区の建物を、民間・地域の方々がどうやって利用してしていくかなど、別の視点で考えると、糸口も見えてくるのではないか。

暮らしの中に、金森という建物が、生活の中にどういう意味をもっているのか。町会活動の中で何かできないかなど、方向を探ってみてはどうか。

E 委員

郷土資料館の委託料700万円の内訳で、一番大きいのは、やはり人件費ですか。

事務局

委託料700万円の内訳として、一番大きいのは人件費で、537万円。光熱水費等の維持管理費で162万円となっております。

議長

先ほどG委員から意見が出たが、郷土資料館でボランティアを活用し、その活動で収益がでたら寄付してもらい、運営資金とすることなども、検討していくのか。生涯学習部長、いかがですか。

生涯学習部長

D委員からも意見がありましたが、この建物を有効に活用するという視点と、郷土資料館として存続する視点の2つの視点があると思います。後者の郷土資料館として存続していくうえで、今は指定管理を導入しているが、開館期間を限定して直営に移行するとか、選択肢がある。使用料の無償化は、類似の施設との整合性もあるし、他の公の施設との整合性もあるので、今後どうするか、慎重に判断していかなければと思っている。

令和4年度以降の指定管理者の選定に必要な債務負担行為も、議会で議決を得ていないので、6月議会前までに直営か指定管理かを決めなければならない状況です。

D 委員

話は変わりますが、函館も文化財等を観光に生かしてはどうか。千歳空港のホテルでは、美術品を大量に入れてエントランスに夷酋列像のアイヌ絵を展示し、観光の目玉にしている。

例えば、博物館や北方民族資料館の資料をパネルにして、ホテルの各部屋に置くなど、美術品活用は、博物館入館への呼び水になるかも知れません。

- D 委員 博物館の職員が、直営で郷土資料館を管理していくとなると、博物館にしてみれば、業務的にかなり負担となるのではないか。
- 生涯学習部長 直営管理となると、人の手配が必要となるので、人件費を含めた管理予算を2月議会で提案する形となります。
- 議 長 公共施設なので、費用対効果だけで考えないほうが良いと思う。もう少し広い目で良いのではないか。収益事業で考えれば、世界の博物館で黒字になるのは一館もないのではと思います。その他ありませんか。
- 生涯学習部長 市教委、市全体の判断もありますので、一定の方向性が出た段階で、協議会委員の皆様にも、結論をお示ししたいと思います。
- 司 会
(事務局) (閉会)
委員長ありがとうございました。
これもちまして、令和3年度第1回博物館協議会を終了させていただきます。
本日はありがとうございました。